

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が310例(男性177例(10歳代19例, 20歳代68例, 30歳代20例, 40歳代24例, 50歳代21例, 60歳代12例, 70歳代8例, 80歳代4例, 年齢非公開1例), 女性129例(10歳代7例, 20歳代43例, 30歳代10例, 40歳代19例, 50歳代18例, 60歳代9例, 70歳代10例, 80歳代10例, 年齢非公開3例), 性別及び年齢非公開4例)あり, 本年の累積報告数は3,770例になりました。
新型コロナウイルス感染症の患者数が急増しています。手洗いやマスクの着用など, 感染予防を徹底しましょう。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代男性)(第13週追加報告分)あり, 症状は菌血症です。本年の累積報告数は9例となりました。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例(60歳代男性)あり, 症状はショック, 腎不全, 軟部組織炎です。感染地域は国内, 感染経路は創傷です。本年の累積報告数は3例となりました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(60歳代及び70歳代男性)(第13週追加報告分含む)ありました。ともに感染地域は国内です。本年の累積報告数は5例となりました。
- 梅毒の報告が1例(30歳代男性)あり, 症状は口腔内潰瘍です。感染地域は国内, 感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は14例になりました。
- インフルエンザは, 市内69の定点医療機関からの報告はありませんでした。全国的にも報告数はほとんどありません。
京都市のインフルエンザの発生状況は下記のホームページをご参照ください。
○京都市のインフルエンザの発生状況(衛生環境研究所)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>

◆ 今週のトピックス: <RSウイルス性感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.44(19例)となり, 前週0.19(8例)から増加しました。前週から過去5年平均値を2週続けて上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 月報の掲載について

今週は, 月ごとに報告のある性感染症と薬剤耐性菌感染症について, 2021年3月分の本市の状況を取りまとめ, 「京都市感染症月報」として掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

(性別, 年齢, 症状, 感染地域[※], 感染経路[※]の順に掲載。ただし, 結核は除く。)

- 二類: 結核 4例(肺結核 3例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし)
【1月以降の累積報告数 65例(肺結核 24例, その他結核 26例, 潜在性結核感染者 15例)うち喀痰塗抹陽性 9例】
- 新型コロナウイルス感染症 310例【1月以降の累積報告数 3,770例】
- 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 9例】
- 五類: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 5例】
- 五類: 梅毒 1例【1月以降の累積報告数 14例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

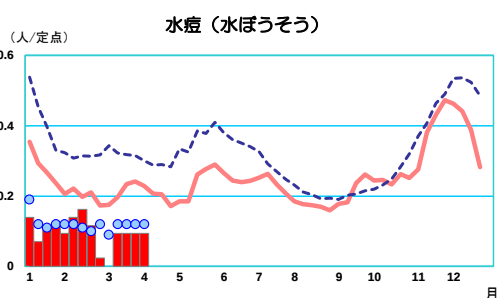
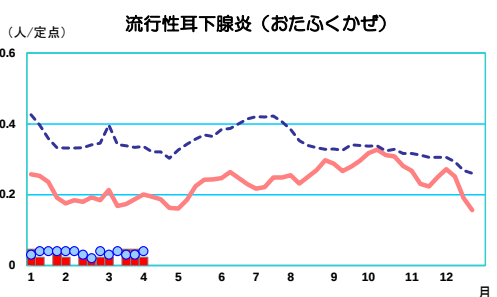
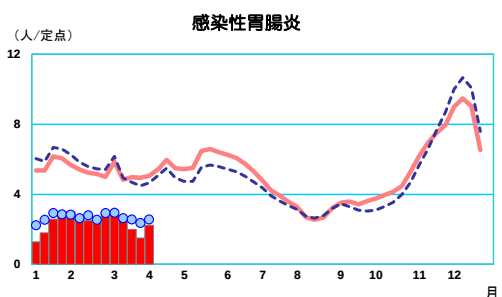
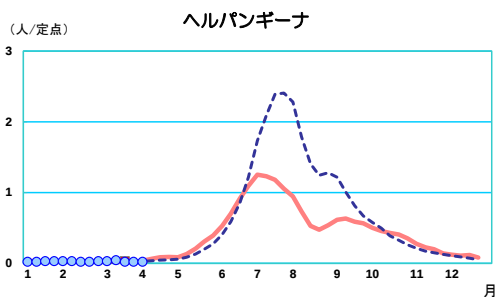
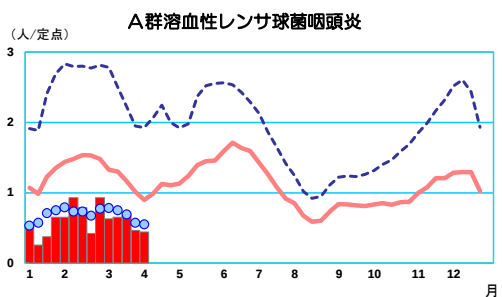
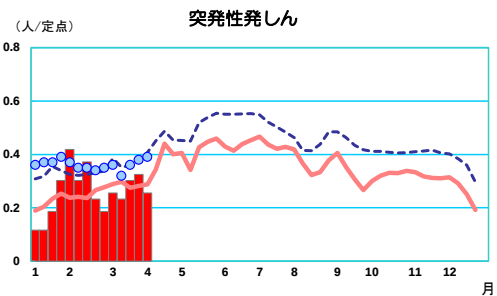
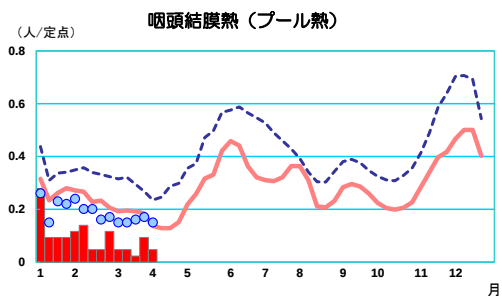
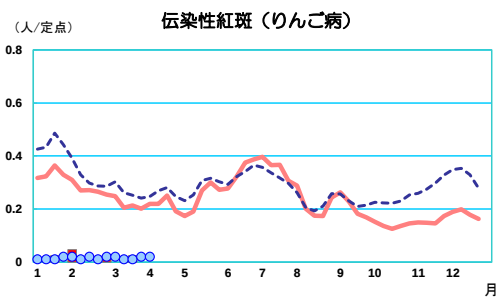
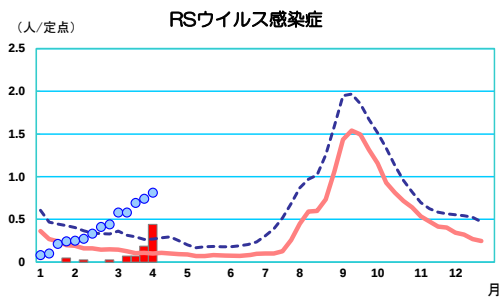
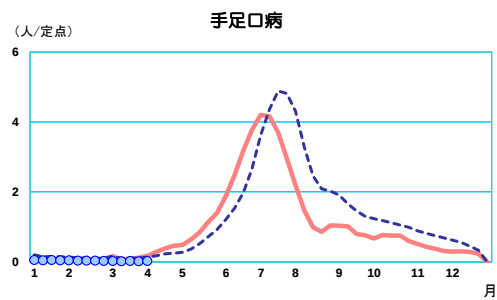
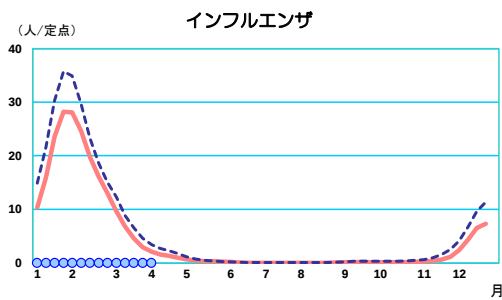
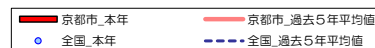
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ [*]	インフルエンザ	0. 00	0
小児科	① 感染性胃腸炎	2. 23	96
(降順5位まで)	② RSウイルス感染症	0. 44	19
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 44	19
	④ 突発性発しん	0. 26	11
	⑤ 水痘	0. 09	4
眼科	流行性角結膜炎	0. 20	2

【次ページ以降の主な内容】

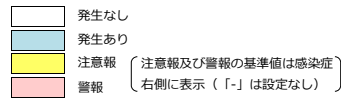
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <RSウイルス性感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数 / 結核の月まとめ)

(注) 京都市のデータは, 2021年4月14日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
[※] 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

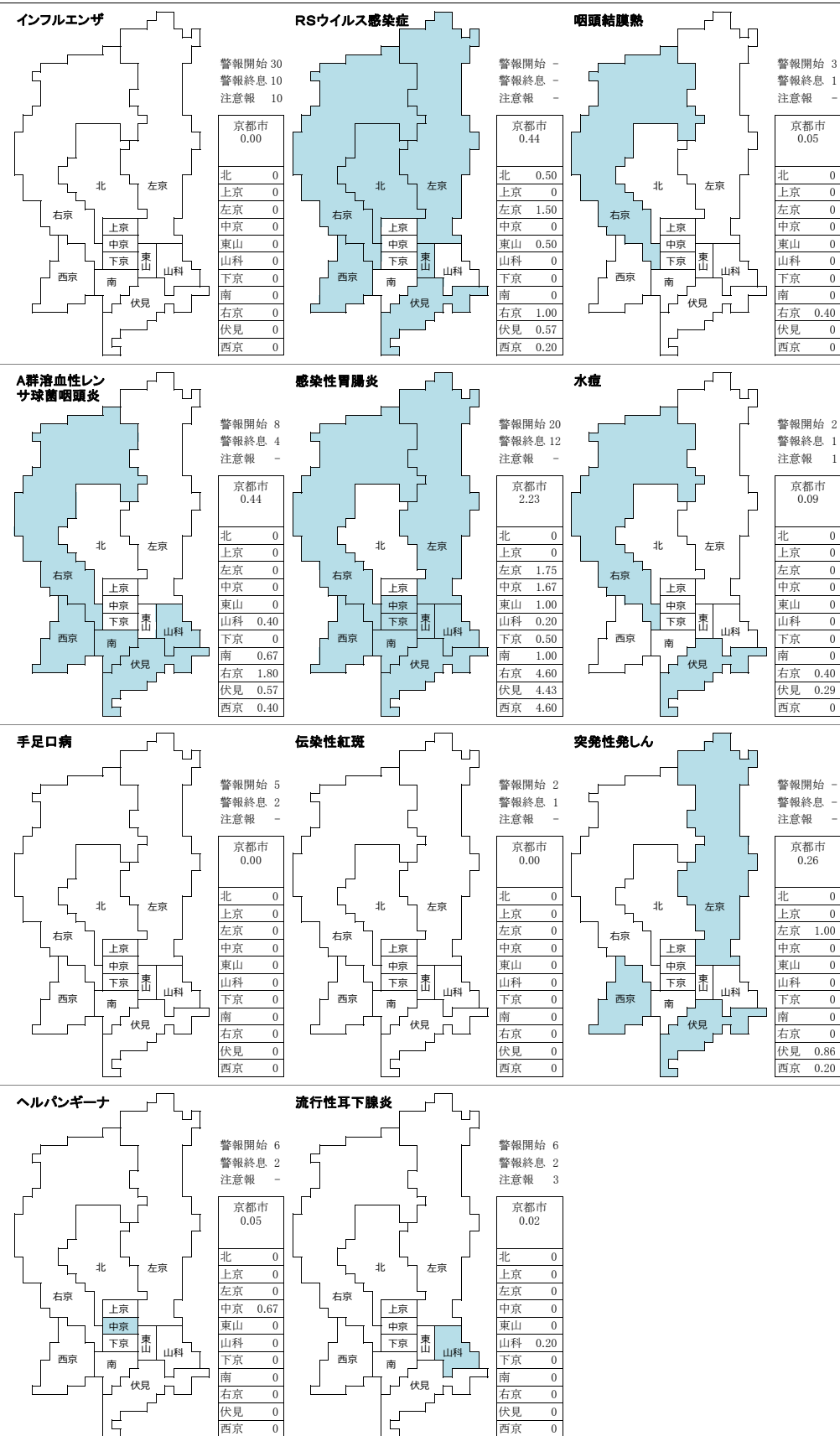
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第14週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
 「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第14週(4月5日～4月11日)トピックス: <RSウイルス感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.44(19例)となり、前週0.19(8例)から増加しました。前週から過去5年平均値を2週続けて上回っています。感染症の発生動向では、過去の平均値及び流行閾値(過去のデータから算出した値で、それ以上報告数が増えたら確率的に非常に多い発生と考えられる値)との比較を観察します。RSウイルス感染症の過去5年平均値を見ると、例年夏から秋にかけて発生のピークを迎え、3月から4月にかけては比較的発生の少ない期間となっています。しかしながら、今週は流行閾値を上回っており、この時期としては非常に多い発生状況と考えられます(図1)。

全国の発生動向は、今週の定点当たり報告数が0.81(2,555例)で、京都市同様に前週0.74(2,337例)から増加していることに加え、第8週以降は過去5年平均値を上回り、さらに第10週からは連続して流行閾値を超えています(図2)。最近の全国の流行状況を都道府県別にみると、九州地方で多く報告されており、かつ増加傾向にあって、今週は宮崎、佐賀、福岡、熊本各県でそれぞれ8.25、6.48、4.63、4.22となっています。他に、長崎県(3.55)、富山県(2.93)、大阪府(2.08)で2を超えており、比較的多く報告されています(図3)。

京都市の報告実数を2007年以降で長期的にみると、2011年度に外来の「1歳未満の乳児」等に対するRSウイルス検査に、公的医療保険が適用されて以降、同感染症の報告数が増加し、2012年から2019年の年間累積報告数は平均して概ね980例程度で推移していましたが、2020年は95例と激減しました(図4)。新型コロナウイルス感染症が流行したため、手洗い、マスク着用、人との距離の適切な確保、人混みを避けるなどの基本的な衛生習慣や行動が広がったことがひとつの原因と言われていますが、明確な理由にははっきりとわかっていません。

京都市では流行とまでは言える状況ではありませんが、今週に流行閾値を超えたこと、全国的には流行と言える地域があること、隣接する大阪府でも報告が増えていること、報告のほとんどなかった前年と比較して、徐々に報告が増えてきていること、小学校等の新しい学年が始まり、児童生徒の接触機会が増えていることなどから、今後の発生動向に十分注意が必要です。

感染経路は、患者の咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスの付着した手指や物品を介した接触感染です。特に、家庭内では両方の感染経路が重複するため、感染しやすい環境といえます。前述の基本的な予防行動の他、子どもたちが日常的に触れるおもちゃや手すりなどをこまめに消毒するなど、接触による感染を予防しましょう。

図1 京都市の定点当たり報告数の推移

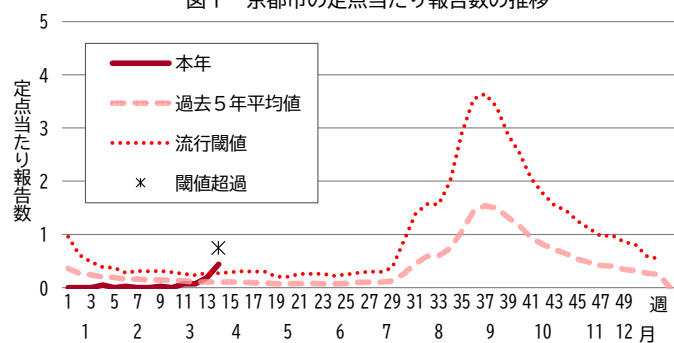


図2 全国の定点当たり報告数の推移

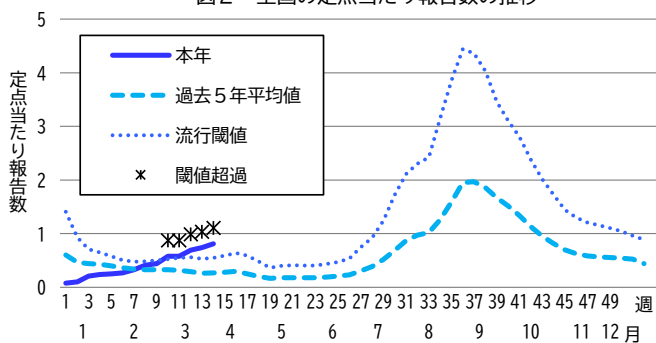


図3 全国の都道府県別推移マップ(第11週から第14週)

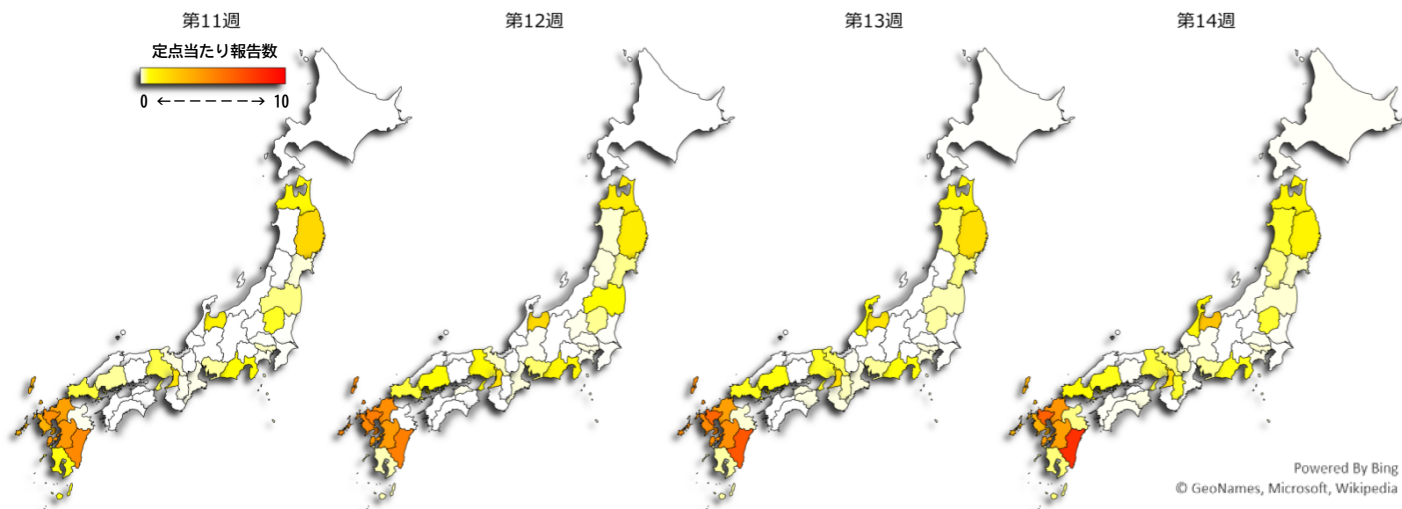
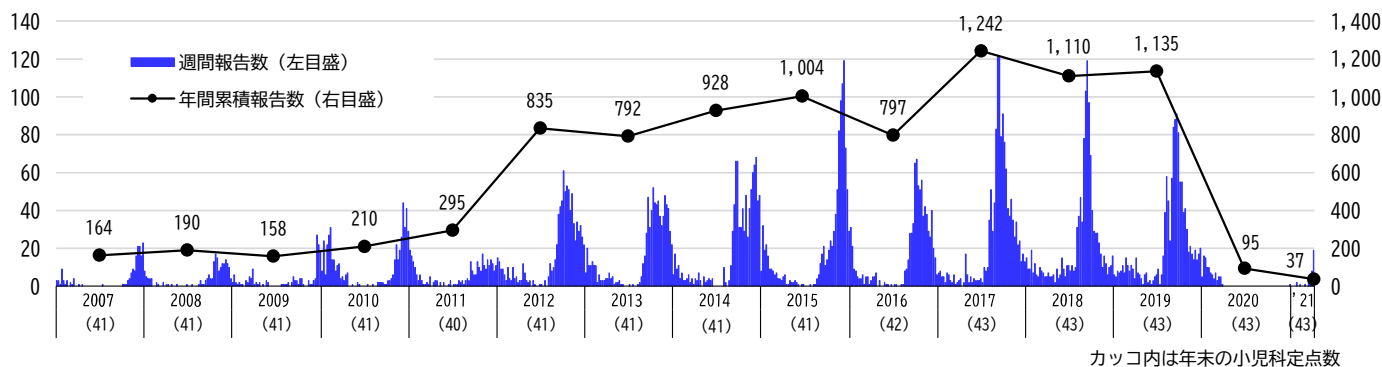


図4 京都市のRSウイルス感染症報告推移(2007～2021年第14週)



カッコ内は年末の小児科定点数

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第14週

疾病,行政区別報告数

2021年4月5日～2021年4月11日

データ入手日:2021年4月14日

	インフル エンザ（※1）	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	6	-	-	7	-	-	-	4	-	-	-	-					
中京	-	-	-	-	5	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-							
山科	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	1	-	1					
下京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-							
右京	-	5	2	9	23	2	-	-	-	-	-	-	1					
伏見	-	4	-	4	31	2	-	-	6	-	-	-	-					
西京	-	1	-	2	23	-	-	-	1	-	-	-	-					
京都市計	-	19	2	19	96	4	-	-	11	2	1	-	2	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフル エンザ（※1）	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	1.50	-	-	1.75	-	-	-	1.00	-	-	-	-					
中京	-	-	-	-	1.67	-	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	0.50	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-							
山科	-	-	-	0.40	0.20	-	-	-	-	-	0.20	-	1.00					
下京	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	0.67	1.00	-	-	-	-	-	-							
右京	-	1.00	0.40	1.80	4.60	0.40	-	-	-	-	-	-	1.00					
伏見	-	0.57	-	0.57	4.43	0.29	-	-	0.86	-	-	-	-					
西京	-	0.20	-	0.40	4.60	-	-	-	0.20	-	-	-	-					
京都市計	-	0.44	0.05	0.44	2.23	0.09	-	-	0.26	0.05	0.02	-	0.20	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。
※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京 都 市 感 染 症 発 生 動 向 調 査 情 報

集計対象:2021年第14週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年4月5日～2021年4月11日

データ入手日:2021年4月14日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上	65歳－	70歳以上				
	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
RSウイルス感染症	年齢3	19	2	2	8	7	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
咽 頭 結 膜 熱		2	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		19	－	1	5	1	－	3	1	－	2	－	2	－	2	2	－	－	－	－	－	
感染性胃腸炎		96	1	10	16	6	15	4	10	6	4	－	2	12	3	7	－	－	－	－	－	
水 痘		4	－	1	1	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
手 足 口 病		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
突発性発しん		11	－	3	7	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ヘルパンギーナ		2	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性耳下腺炎		1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ ^{※1)}	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	0.44	0.05	0.05	0.19	0.16	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		0.05	－	－	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.44	－	0.02	0.12	0.02	－	0.07	0.02	－	0.05	－	0.05	－	0.05	0.05						
感染性胃腸炎		2.23	0.02	0.23	0.37	0.14	0.35	0.09	0.23	0.14	0.09	－	0.05	0.28	0.07	0.16						
水 痘		0.09	－	0.02	0.02	－	0.02	－	－	－	－	0.02	－	－	－	－						
手 足 口 病		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		0.26	－	0.07	0.16	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.05	－	－	0.02	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		0.02	－	－	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		0.20	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	0.10	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎 ^{※2)}	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 ^{※3)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 ^{※4)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第14週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年4月14日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		1	－	－	－	1	－
RSウイルス感染症		1	－	3	3	8	19
咽 頭 結 膜 熱		5	2	2	1	4	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		40	27	28	29	20	19
感染性胃腸炎		126	122	115	86	65	96
水 痘		1	－	4	4	4	4
手 足 口 病		－	1	－	5	2	－
伝 染 性 紅 斑		1	－	－	1	－	－
突発性発しん		8	11	10	13	14	11
ヘルパンギーナ		2	1	3	4	1	2
流行性耳下腺炎		1	1	－	2	2	1
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		－	－	－	－	－	2
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		186	165	165	148	121	156

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.01	－	－	－	0.01	－
RSウイルス感染症		0.02	－	0.07	0.07	0.19	0.44
咽 頭 結 膜 熱		0.12	0.05	0.05	0.02	0.09	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.93	0.63	0.65	0.67	0.47	0.44
感染性胃腸炎		2.93	2.84	2.67	2.00	1.51	2.23
水 痘		0.02	－	0.09	0.09	0.09	0.09
手 足 口 病		－	0.02	－	0.12	0.05	－
伝 染 性 紅 斑		0.02	－	－	0.02	－	－
突発性発しん		0.19	0.26	0.23	0.30	0.33	0.26
ヘルパンギーナ		0.05	0.02	0.07	0.09	0.02	0.05
流行性耳下腺炎		0.02	0.02	－	0.05	0.05	0.02
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		－	－	－	－	－	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		4.32	3.84	3.84	3.44	2.81	3.78

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。